

シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	2	2		<講義内容> 1. 介護職員初任者研修とは 2. 多様なサービスの理解 ①介護保険サービス (居宅サービス・施設サービス) ②介護保険外サービス ・障がい者へのサービス ・その他のサービス <演習実施方法> 講師指導のもとグループワークを行う グループワーク：地域の社会資源について
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4		<講義内容> 1. 介護職の仕事内容 (居宅・施設) 2. 実際のサービス提供現場 (居宅・施設) 3. サービス提供の実際 ・業務の流れ ・チームアプローチ ・社会資源の活用など 講師による講義の他、視聴覚教材を活用し、理解を深める。
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	(株)ミネルヴァ書房発行 「介護職員初任者研修テキスト」 (株)ミネルヴァ書房発行 DVD教材 介護保険サービスパンフレット、障がい福祉サービスパンフレット
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4.5	2	2.5	<通信学習課題の内容> 1. 人権と尊厳の保持 2. ICFとは (介護分野におけるICF) 3. QOLとは (介護職に求められるもの) 4. ノーマライゼーション 5. 虐待予防・身体拘束禁止 6. 個人の権利を守る制度の概要 <講義内容> 1. 人権と尊厳の保持 2. ICFとは (介護分野におけるICF) 3. QOLとは (介護職に求められるもの) 4. ノーマライゼーション 5. 虐待予防・身体拘束禁止 6. 個人の権利を守る制度の概要
② 自立に向けた介護	2.5	1	1.5	<通信学習課題の内容> 1. 自立支援とは (求められる介護福祉士像) 2. 介護予防とは <講義内容> 1. 自立支援とは (求められる介護福祉士像) 2. 介護予防とは
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		<講義内容> 1. 人権とはなにか 2. 介護と人権
(合計時間数)	9	5	4	

使用する機器・備品等	(株)ミネルヴァ書房発行 「介護職員初任者研修テキスト」
------------	------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

科目番号・科目名	(3)介護の基本(6時間)			
指導目標	<p>・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。</p> <p>・介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1	0.5	0.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>1. 介護環境の特徴の理解 2. 介護の専門性 3. 介護に関わる職種</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 介護環境の特徴の理解 2. 介護の専門性 3. 介護に関わる職種</p>
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>1. 介護の専門職としての職業倫理 2. プライバシーの保護 3. 地域社会における介護職の役割</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 介護の専門職としての職業倫理 2. プライバシーの保護 3. 地域社会における介護職の役割</p>
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>1. 介護における安全の確保 2. 事故予防・安全対策 3. 感染対策 4. 事故発生と対応の原則</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 介護における安全の確保 2. 事故予防・安全対策 3. 感染対策 4. 事故発生と対応の原則</p>
④ 介護職の安全	2	1	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>1. 介護職の心身の健康管理 2. 介護職に起こりやすい健康障害とその予防</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 介護職の心身の健康管理 2. 介護職に起こりやすい健康障害とその予防</p> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもとグループワークを行う グループワーク：事例で学ぶ健康障害とその予防</p>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等 (株)ミネルヴァ書房発行「介護職員初任者研修テキスト」

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

科目番号・科目名	(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	<p>介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	1.5	1.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>1. 介護保険制度創設の背景および目的、動向 2. しくみの基礎的理解</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 介護保険制度創設の背景および目的、動向 2. しくみの基礎的理解</p>
② 医療との連携とリハビリテーション	3	1	2	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>1. 医行為と介護 2. 医療・看護との連携 3. リハビリテーション</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 医行為と介護 2. 医療・看護との連携 3. リハビリテーション</p>
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3	1	2	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>1. 障がい者福祉制度の理念 2. 障がい者自立支援制度のしくみの基礎的理解 3. 個人の権利を守る制度の概要</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 障がい者福祉制度の理念 2. 障がい者自立支援制度のしくみの基礎的理解 3. 個人の権利を守る制度の概要</p> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもとグループワークを行う グループワーク：苦情についての事例</p>
(合計時間数)	9	3.5	5.5	

使用する機器・備品等 (株)ミネルヴァ書房発行「介護職員初任者研修テキスト」  
介護保険サービスパンフレット  
障がい福祉サービスパンフレット

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

科目番号・科目名	(5)介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初心者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		<講義内容> 1. 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 2. バイステックの7原則 3. コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション 4. 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 5. 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 <演習実施方法> 講師指導のもとグループワークを行う グループワーク：コミュニケーションのロールプレイ
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		<講義内容> 1. 記録による情報の共有化 2. 報告 3. コミュニケーションを促す環境 <演習実施方法> 講師指導のもとグループワークを行う グループワーク：記録の事例検討
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	(株)ミネルヴァ書房発行「介護職員初任者研修テキスト」 福祉用具カタログ
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

科目番号・科目名	(6)老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴う心身の変化と日常	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> 1. 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 2. 老化に伴う心身の機能低下と日常生活への影響 <講義内容> 1. 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 2. 老化に伴う心身の機能低下と日常生活への影響
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> 1. 高齢者の疾患と生活上の留意点 2. 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 <講義内容> 1. 高齢者の疾患と生活上の留意点 2. 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株)ミネルヴァ書房発行「介護職員初任者研修テキスト」
------------	-----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 1. 認知症の現状と施策 2. 認知症ケアの理念 <講義内容> 1. 認知症の現状と施策 2. 認知症ケアの理念
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<通信学習課題の内容> 1. 認知症の概念 2. 認知症の原因疾患とその病態、健康管理 <講義内容> 1. 認知症の概念 2. 認知症の原因疾患とその病態、健康管理
③ 認知症に伴うところからの変化と日常生活	2	1	1	<通信学習課題の内容> 1. 認知症の人の生活障がい、BPSD(行動・心理症状)の特徴 2. 認知症の利用者への対応 <講義内容> 1. 認知症の人の生活障がい、BPSD(行動・心理症状)の特徴 2. 認知症の利用者への対応
④ 家族への支援	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 1. 認知症と家族の心理 2. 家族介護者への支援 <講義内容> 1. 認知症と家族の心理 2. 家族介護者への支援
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株)ミネルヴァ書房発行「介護職員初任者研修テキスト」
------------	-----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 1. 障がいの概念とICF 2. 障がい者福祉の基本理念 <講義内容> 1. 障がいの概念とICF 2. 障がい者福祉の基本理念
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	2	1.5	0.5	<通信学習課題の内容> 1. 身体障がい 2. 知的障がい 3. 精神障がい 4. その他の心身の機能障がい <講義内容> 1. 身体障がい 2. 知的障がい 3. 精神障がい 4. その他の心身の機能障がい
③ 家族の心理、かかり支援の理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 1. 家族の抱えるストレスの理解 2. 家族への支援 <講義内容> 1. 家族の抱えるストレスの理解 2. 家族への支援
(合計時間数)	4	2.5	1.5	

使用する機器・備品等	(株)ミネルヴァ書房発行「介護職員初任者研修テキスト」
------------	-----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 65

商号又は名称: 特定非営利活動法人サンキューネット

基本知識の学習 (10~13時間)

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<p>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</p> <p>・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
ア 基本知識の学習 ① 介護の基本的な考え方	4	2	2	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法令根拠に基づく介護</li> <li>2. 理論に基づく介護 ICFの視点に基づく生活支援</li> </ol> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法令根拠に基づく介護</li> <li>2. 理論に基づく介護 ICFの視点に基づく生活支援</li> </ol>
ア 基本知識の学習 ② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	2	2	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習と記憶の基礎知識</li> <li>2. 感情と意欲の基礎知識</li> <li>3. 自己概念と生きがい</li> <li>4. 適応行動とその阻害要因</li> </ol> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習と記憶の基礎知識</li> <li>2. 感情と意欲の基礎知識</li> <li>3. 自己概念と生きがい</li> <li>4. 適応行動とその阻害要因</li> </ol>
ア 基本知識の学習 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	2	2	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体各部の名称と動きに関する基礎知識</li> <li>2. 骨・関節・筋に関する基礎知識</li> <li>3. 中枢神経と体性神経に関する基礎知識</li> <li>4. 自律神経と内部器官に関する基礎知識</li> <li>5. こころとからだを一体的にとらえる</li> <li>6. 利用者の心身の違いに気づく視点</li> </ol> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体各部の名称と動きに関する基礎知識</li> <li>2. 骨・関節・筋に関する基礎知識</li> <li>3. 中枢神経と体性神経に関する基礎知識</li> <li>4. 自律神経と内部器官に関する基礎知識</li> <li>5. こころとからだを一体的にとらえる</li> <li>6. 利用者の心身の違いに気づく視点</li> </ol>
イ 生活支援技術の講義・演習 ④ 生活と家事	6	6		<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家事と生活の理解</li> <li>2. 家事援助に関した基礎知識と生活支援</li> </ol> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもと、グループにわかれロールプレイを行う</p>

項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑤ 快適な居住環境整備と介護	6	6		<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 快適な居住環境に関する基礎知識</li> <li>2. 高齢者・障がい者特有の住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法</li> </ol> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもと、いくつかの福祉用具を使ってロールプレイを行う</p>
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 整容に関する基礎知識</li> <li>2. 整容の支援技術</li> </ol> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもと、グループにわかれロールプレイを行う</p>
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	9	9		<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移動・移乗に関する基礎知識</li> <li>2. さまざまな移動・移乗に関する器具とその活用方法</li> <li>3. 移動を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> <li>4. 移動と社会参加の留意点と支援</li> </ol> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもと、グループにわかれロールプレイを行う</p>
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑧ 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食事に関する基礎知識</li> <li>2. からだのしくみと食事形態</li> <li>3. 福祉用具や食器の活用方法</li> <li>4. 食事を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> <li>5. 口腔ケア</li> </ol> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもと、グループにわかれロールプレイを行う</p>
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑨ 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入浴・清潔保持に関連した基礎知識</li> <li>2. 入浴用品と整容用具の活用方法</li> <li>3. 入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ol> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもと、グループにわかれロールプレイを行う</p>
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑩ 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 排泄に関する基礎知識</li> <li>2. 排泄環境整備と排泄用具の活用方法</li> <li>3. 排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ol> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもと、グループにわかれロールプレイを行う</p>
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑪ 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3		<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 睡眠に関する基礎知識</li> <li>2. 睡眠環境と排泄用具の活用方法</li> <li>3. 睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法</li> </ol> <p>&lt;演習実施方法&gt;</p> <p>講師指導のもと上記の内容についてグループにわかれ、ディスカッションを行う</p>

## シラバス

指定番号 65

商号又は名称： 特定非営利活動法人サンキューネット

項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
イ 生活支援技術の講義・演習 ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	6	6		<講義内容> 1. 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ 2. 生から死への課程 3. 『死』に向き合うところの理解 4. 苦痛の少ない死への支援 <演習実施方法> 講師指導のもと上記の内容についてグループにわか れ、ディスカッションを行う
ウ 生活支援技術演習 ⑬介護過程の基礎的理解	6	6		<講義内容> 1. 介護課程の目的・意義・展開 2. 介護課程とチームアプローチ <演習実施方法> 講師指導のもとグループワークを行う グループワーク：事例から考える
イ 生活支援技術演習 ⑭総合生活支援技術演習	6	6		<講義内容> 1. グループワークの進め方 2. 事例から全体像をイメージ化する 3. 事例から考える介護のポイント 4. 事例における全体像を振り返り、今後の課題などを考 える <演習実施方法> 講師指導のもとグループワークを行う グループワーク：事例から考える
(合計時間数)	78	72	6	

使用する機器・備品等	(株)ミネルヴァ書房発行 「介護職員初任者研修テキスト」 (株)ミネルヴァ書房発行 DVD教材 福祉用具カタログ ベッド・車椅子・白杖・ポータブルトイレ・簡易浴槽など
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(10) 振り返り(4時間)			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	3	3		<講義内容> 1. 各科目の振り返り
② 就業への備えと研修修了後における実例	1	1		<講義内容> 1. 介護職員数の状況 2. キャリアパス 3. 介護知識・介護技術の評価について
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	(株)ミネルヴァ書房発行 「介護職員初任者研修テキスト」 介護プロフェッショナルのキャリア段位制度のリーフレット
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。